

大会の基本的な情報

項目	分類	2012ロンドン大会	2016リオ大会	2020東京大会
参加国・地域	オリンピック	204	206	未定
	パラリンピック	164	159	未定
競技数	オリンピック	26競技302種目	42競技306種目	33競技
	パラリンピック	20競技503種目	22競技528種目	22競技
チケット販売数	オリンピック	約880万枚	約750万枚	約780万枚
	パラリンピック	約270万枚	約330万枚	約230万枚
競技会場	オリンピック	34	37	34（一部調整中）
	パラリンピック	15	21	17（一部調整中）
【出典】 <a href="https://www.olympic.org/london-2012">https://www.olympic.org/london-2012</a> 、 <a href="https://www.paralympic.org/london-2012">https://www.paralympic.org/london-2012</a> <a href="https://www.rio2016.com/en/">https://www.rio2016.com/en/</a> 、 <a href="https://www.rio2016.com/en/paralympics">https://www.rio2016.com/en/paralympics</a> <a href="https://tokyo2020.jp/jp/games/plan/">https://tokyo2020.jp/jp/games/plan/</a>				

- 2020年東京大会における参加国・地域は確定していないが、直近2大会と同等かそれ以上と想定される。
- 2016年8月3日に追加競技として「野球・ソフトボール」、「空手」、「スポーツクライミング」、「サーフィン」「スケートボード」の5競技18種目が決まったと発表された。これらの競技の会場は調整中である。
- 2020年東京大会ではオリンピック・パラリンピックで合わせて約1010万枚のチケット販売が計画されている。海外からの訪日客に限らず、多くの国民も含めた観客が国内を移動・宿泊施設等を利用することになる。
- 競技会場は東京の湾岸エリア中心であるが、サッカーの予選等、一部の競技は地方で開催される。

選手や大会関係者

項目	分類	2012ロンドン大会	2016リオ大会	2020東京大会
選手数	オリンピック	約10,500人	約10,500人	－
	パラリンピック	約4,200人	約4,400人	－
大会関係者	組織委員会	約6,000人	約8,000人	約7,000人（予定）
	契約者等	約100,000人	約85,000人	－
	ボランティア	約70,000人	約70,000人	約80,000人（予定）
メディア関係者		約21,000人	－	－
【出典】 <a href="https://www.olympic.org/london-2012">https://www.olympic.org/london-2012</a> 、 <a href="https://www.paralympic.org/london-2012">https://www.paralympic.org/london-2012</a> <a href="https://www.rio2016.com/en/athletes">https://www.rio2016.com/en/athletes</a> 、 <a href="https://www.rio2016.com/en/paralympics/athletes">https://www.rio2016.com/en/paralympics/athletes</a> 、 <a href="https://www.rio2016.com/transparencia/en/human-resources#processos-seletivos">https://www.rio2016.com/transparencia/en/human-resources#processos-seletivos</a>				

- 2020年の東京大会における選手数は現時点では未定だが、IOCの定義もあるため直近2大会と同程度のなるものと予想される。ロンドン大会では選手を含めコーチ、大会役員を合わせて3万5千人を超える人数が英国に入国した。
- 多くのボランティア等が大会運営に携わるため、選手や観客のみならず、多くの人々が国内を移動・滞在することになる。
- 2012年のロンドン大会では、アクレディテーション（認定証）が発行されたメディア関係者だけで2万1千人だった。実際にはより大勢のメディア関係者が入国することになると想定される。

観客・観光客

項目	2012ロンドン大会	2016リオ大会
観客・観光客	<ul style="list-style-type: none"><li>ヒースロー空港の1日あたり最高到着人数 約12万7千人</li><li>大会期間中、最も多い日で300万人が英国に入国</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>GIG空港では平均で4万人、閉会式当日は9万人の利用を予想</li></ul>
【出典】Oliver Hoare「LONDON2012: CYBER SECURITY」		

- リオデジャネイロのGIG空港では、1日当たりの渡航者対応可能数を従来の2倍の9万人に対応可能となるように改装した模様である。
- 日本政府は2020年の訪日観光客数の目標値を2千万に設定している。大会期間中に限らず、多くの訪日客に対応可能な宿泊設備等の準備が必要になる。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会競技会場 2016年8月末時点

■ヘリテッジゾーン ※（）のは収容可能人数  
オリンピック・スタジアム（68,000）  
東京体育館（8,000）  
国立代々木競技場（12,000）  
日本武道館（11,000）  
皇居外苑（1,000）  
東京国際フォーラム（5,000）  
両国国技館（10,000）  
マランコース

■その他① ※（）のは収容可能人数  
馬事公苑（ ）世田谷区  
武蔵野の森総合スポーツ施設（5,000）調布市  
東京スタジアム（50,000）調布市  
陸上自衛隊朝霞駐屯地（4,600）埼玉県朝霞市  
霞が関カンツリー倶楽部（1,000）埼玉県川越市  
さいたまスーパーアリーナ（19,000）埼玉県さいたま市  
埼玉スタジアム2002（64,000）埼玉県さいたま市  
札幌ドーム（41,000）北海道札幌市  
宮城スタジアム（50,000）宮城県宮城郡利府町

■東京ベイゾーン ※（）のは収容可能人数  
有明アリーナ（15,000）  
有明BMXコース（5,000）  
有明体操競技場（12,000）  
有明テニスの森公園（20,500）  
お台場海浜公園（10,000）  
潮風公園（12,000）  
大井ふ頭中央海浜公園（15,000）  
海の森クロスカンtriyコース（ ）  
海の森水上競技場（14,000）  
葛西臨海公園隣接所有地（12,000）

■その他② ※（）のは収容可能人数  
幕張メッセ（ ）千葉県千葉市  
江の島ヨットハーバー（ ）神奈川県藤沢市  
伊豆ベロドローム（5,000）静岡県伊豆市  
伊豆マウンテンバイクコース（ ）静岡県伊豆市  
横浜国際競技場（72,000）神奈川県横浜市

【出典】<https://tokyo2020.jp/games/venue/>

インターネット・放送・配信環境

- 2012年のロンドン大会におけるインターネットや配信状況
  - 2012年のロンドン大会では220の地域でテレビ放送された
  - ツイート数は1.5億回
  - 公式サイトへのユニークユーザでの1日あたりの最高アクセス数は180万
  - 公式サイトのページビューは47億件
  - 大会期間中、イギリス各地に70か所以上のライブサイトが用意され、810万人が訪れた
- 公式サイト等大会の関連サイトに限らず、海外からの訪日予定者による国内サイトへのアクセスの増加が予想される。
- インターネットを利用したサービス提供は、2020年の東京大会まで拡大していくものと予想される。
- 2020年の東京大会においても東京大会に限らず、多くの場所でライブサイトを準備することが計画されている。

【出典】IOC「London 2012 Olympic Games Global Broadcast Report」  
IOC「FACSHEET LONDON 2012 FACTS & FIGURES UPDATE – NOVEMBER 2012」  
IET「Delivering London 2012: ICT implementation and operations」  
The London Organising Committee of the Olympic Games and Paralympic Games Limited「London 2012 Report and accounts」

サイバーセキュリティ環境

- 2012年のロンドン大会において以下のサイバーセキュリティ事案が発見された。
  - 23億5千万件のセキュリティ関連のログが記録された
  - 2億件の悪意のある接続要求をブロック
  - 構築時のウイルス検出
  - 電力システムへの攻撃予告（直前で手動での対応へ切り替えた）
- 【出典】Oliver Hoare「LONDON2012: CYBER SECURITY」

調達

項目	2012ロンドン大会	2016リオ大会
調達	スポーツ関連設備：100万点	全体：3000万点 スポーツ関連設備：100万点 ベッド&マットレス：4万 座席：約20万 馬：40頭
【出典】 <a href="https://www.rio2016.com/transparencia/en/procurement">https://www.rio2016.com/transparencia/en/procurement</a>		

- 競技に関連するアイテムに限らず、大会を開催するために様々な物品が調達される。これらアイテムの調達の他、これら運ぶ物流機能は大会の成功には欠かせない機能となる。

- 世界的なビッグイベントであり注目度は高い。2016年のリオ大会でも、「Anonymous」と名乗る者により、大会や政府機関のWebサイトがサイバー攻撃の標的とされた。
- 攻撃手法等は刻々と変化し、脅威は深刻化する状況を鑑みると、2020年には現在以上に深刻な状況となっていることが予想される。
- 標的型攻撃やDDoS攻撃等、脅威の種類が増加。2020年に向けてIoT等の普及が予想され、脅威の範囲もさらに広がる懸念がある。